

令和4年12月15日
日高市教育委員会 生涯学習課
諸井 将博

I はじめに

- 1 あいさつ
- 2 DVD 視聴

II 同和問題について

参考 「人権教育に関する実践指導資料」 埼玉県教育委員会より

III 人権教育の推進

1 人権教育のねらい

(1) 学校教育における人権教育のねらい

人権問題を正しく理解し、人権感覚を身につけ、様々な人権課題を解決しようとする子供を育成する。

(2) 家庭、地域社会における人権教育のねらい

県民一人一人が、人権問題を正しく理解し、人権感覚を身につけ、互いに人権を尊重しながら共に生きる社会の実現に努める。

2 「人権問題を正しく理解する」について……………知的側面

- ・ 基本的人権の精神を学び、理解し、尊重できる実践力を身につける教育活動
- ・ 女性、子供、高齢者、障がいのある人、同和問題、外国人、HIV 感染者等、犯罪被害者やその家族、アイヌの人々、インターネットによる人権侵害、北朝鮮当局による拉致問題、災害時における人権への配慮、様々な人権問題などの個別の人権課題に対する正しい理解と解決に向けて実践する知識・技能や態度を育成する教育活動

◎個別の人権課題の目標について

参考「人権教育実践の手引き」 「埼玉県人権教育実施方針」 埼玉県教育委員会より

3 「人権感覚を身につける」について……………価値的・態度的側面と技能的側面

- ・ 知識や情報を理解させるだけでなく、自分で考え、感じ、行動することによって気づき身につくもの。
- ・ 「協力的」「参加的」「体験的」な学習が大切。

参考「人権感覚育成プログラム」 埼玉県教育委員会より

参考資料は 埼玉県トップページ > くらし・環境 > 人権 > 人権教育 より

4 アイスブレイキングの例……………やってみましょう

背中的人物

- ・ 3. 4人のグループを偶数グループづくり、対抗戦で行う。
- ・ 「食べ物」「スポーツ」「料理」「歴史上の人物」などのお題から、グループで相談しながら決めて、紙に書き、相手グループの1人の背中に貼る。貼られた人、同じグループの人はその紙を見ない。
- ・じゃんけんをして、勝ったグループから質問をする。相手は「はい」「いいえ」「どちらともいえない」の答えしか言わない。
- ・ 質問の答えを聞いて「〇〇ですか」と言えるのは1つだけ。
- ・ はずれたら、質問と答えの側が替わる。
- ・ 早く正解を出したほうが勝ちとする。

同じものの探し

- ・ 3. 4人のグループをつくる。
- ・ 「食べ物」「趣味」「気になったニュース」など紹介し合い、共通点を探していくようにする。
- ・ 共通点を書きだす。
- ・ たくさん書き出し他グループが勝ちとするが。

※意外な共通点を探し当てたときの喜びを共有していく。

5 おわりに

(1) 人権教育の研修について

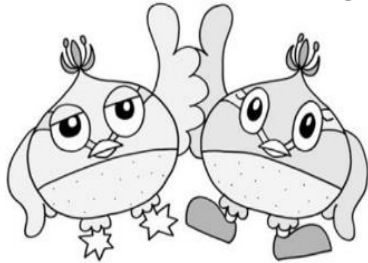
参考例

- ①人権教育資料の読み合わせ
- ②人権感覚育成プログラムを実際にやってみる
- ③講演
- ④DVD 視聴

日高市人権教育推進協議会

同和問題と人権について

日高市マスコットキャラクター
くりっかー&くりっぴー



日高市生涯学習課 諸井将博

部落差別

起源は

戦国時代？江戸時代？

封建社会の身分制度で一番低い身分として厳しい差別を受けた。

明治時代

「解放令」

「武士・農民・町民」→「平民」

「差別されていた身分」→「新平民」

差別

税収を上
げる目的



明治から大正

「水平社運動」・・・差別からの解放



解消ならず

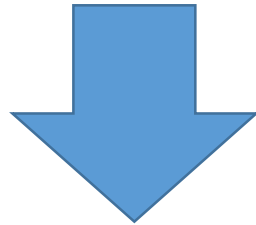


戦争の時代へ

昭和40年頃からの「同和対策事業」

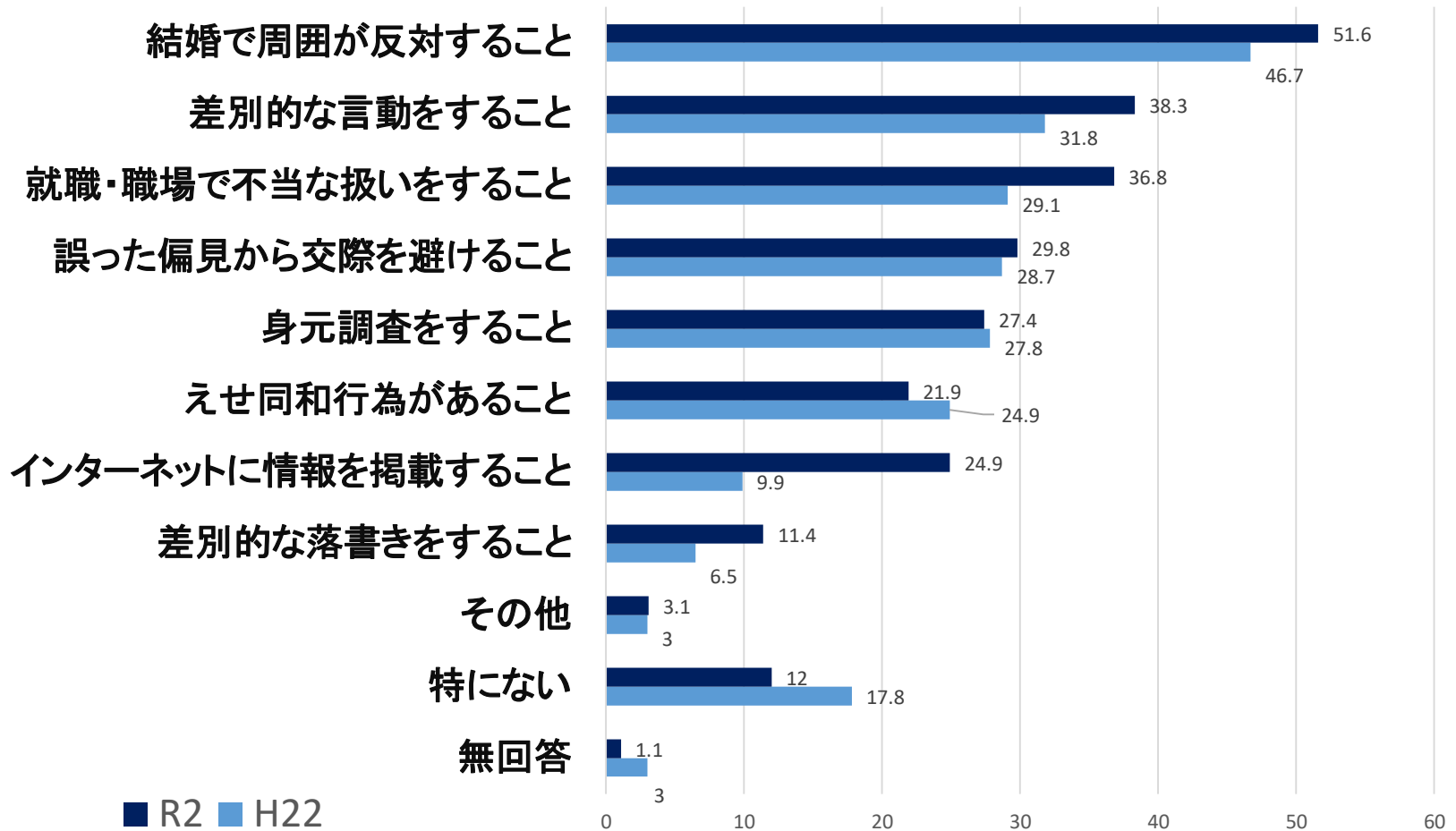
- ・生活改善、社会福祉の増進、職業の安定

(実態的差別はほぼ解消)



しかし

同和問題に関してどのような問題が 起きていると思いますか



■ R2 ■ H22

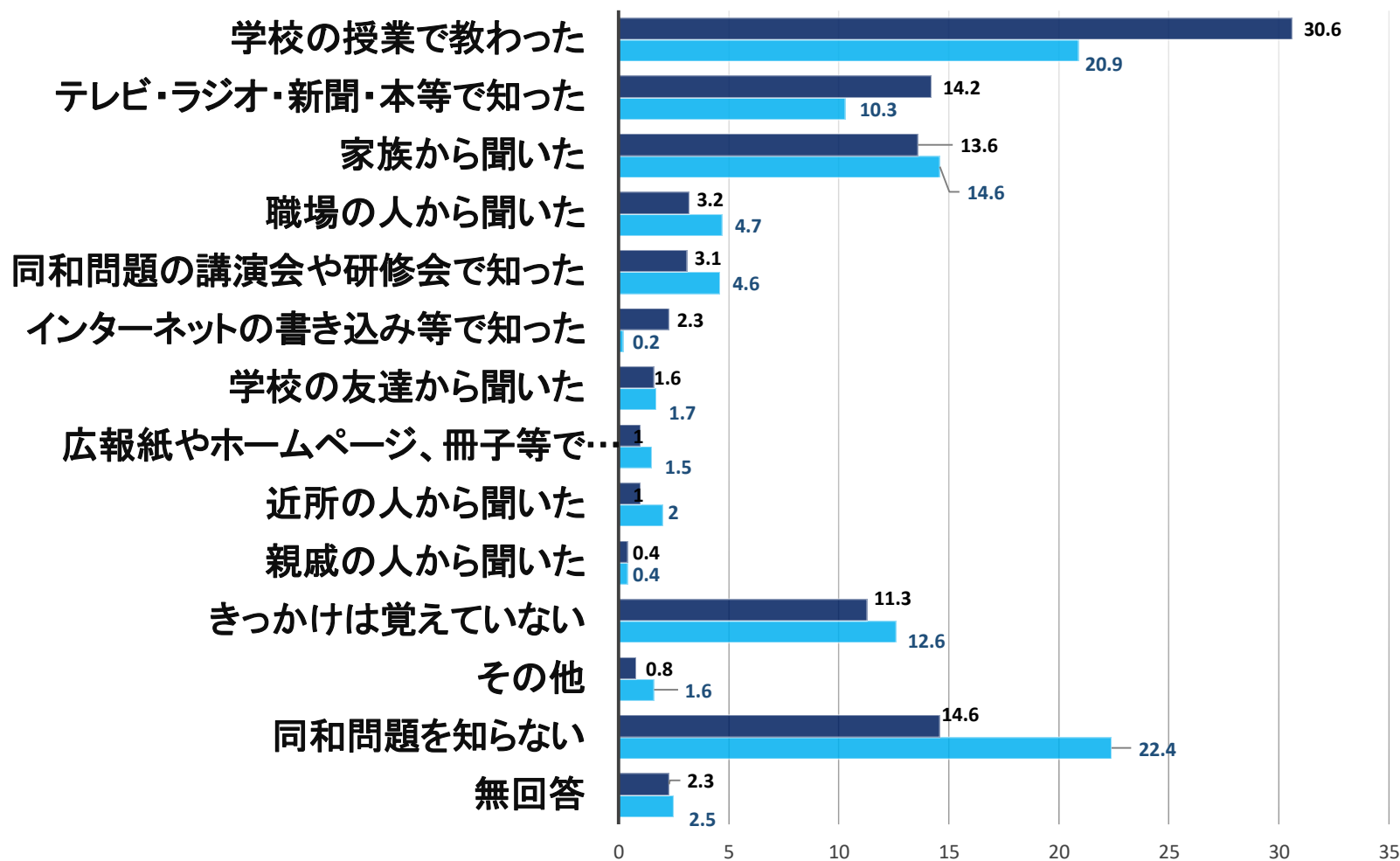
インターネット上の差別的な 書き込み等の増加

言葉

行為

心理的差別

同和問題について、初めて知ったきっかけは何からですか。



人権に関する意識調査 令和2年

■ 令和2年 ■ 平成22年

昔のことだ
から、そっと
しておけば

「寝た子を起
こすな」
わざわざ話題
にしなくても

建前



結婚

自分の問題

就職

そうなの？
家族にも知らせようかな。

自分とは関係
ない。

こんなことを
インターネット
で言っていた。

自分が当事者
だったら・・・

言われた人は
傷つくだろうな

この内容は
違うぞ。うわさ
でも広めるべき
でない。

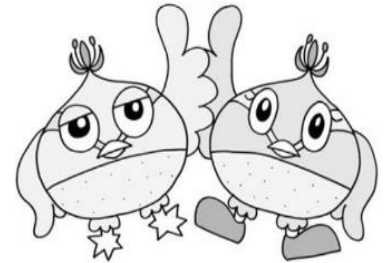
人権問題の解決を目指して

人権を尊重すること

人の痛みを感じる思いやり

ご視聴ありがとうございました。

日高市マスコットキャラクター
くりっかー&くりっぴー



5 学校において大切にしたい内容例一覧表

	学校全体の取組	人権及び人権問題を理解する取組	様々な人権問題の解決を目指す取組
保育所 幼稚園	◎ 教育・学力を保障する。 ○ 様々な課題を有する子どもたちの教育保障 ○ 全ての子どもの基礎学力の保障 ・多様な進路を選択する力を保障する。 ・生涯学習の基礎を培う。 ◎ 安全が守られている教育環境をつくる。	○ 自然や地域とのふれ合いを通して ・仲間とともに遊びを楽しむ。 ・様々な文化や仕事があることに気付く。 ○ 身近な人々とのふれ合いを通して ・お互いのよさやちがいに気付く。 ・話したり、聞いたりする楽しさを味わう。 ・家庭や集団の一員であることを実感する。 ○ 健康な生活リズム、生活習慣を身に付け、健康で安全な生活を送る。 ○ 様々な体験を通して自分が大切にされていることに気付く。 ○ 音楽、造形、言語等の様々な表現活動に出会う。 ○ 動植物の世話等を通して、命の大切さに気付く。	
小学校 (低学年)	○ 施設・設備の安全な維持管理及び保健・衛生面の管理 ○ 保健・衛生指導と安全指導（家庭との連携） ○ 教室等の環境整備 ○ いじめをしない環境（家庭や地域、関係機関との連携） ○ 危機管理体制の確立	○ 命の尊さを学ぶ。 ○ 自分の生活や成長には、家族や多くの人の支援があることを理解する。 ○ 地域の仕事や人々の生活について学ぶ。 ○ 高齢者や障害のある人など、様々な人々とともに暮らしていることに気付く。 ○ 様々な体験を通して、一人一人のちがいや共通する願いの存在に気付く。 ○ 友だちとの間で起こるトラブルの解決方法等について考える。 ○ 集団生活におけるルールの大切さを理解する。	○ 自然、地域、芸術等とのふれ合いを通して、それらのよさや豊かさを感じる。 ○ 自分の思いや願いを様々な方法で表現する。 ○ 他の人の立場に立ってその人の考えや気持ちを理解する力を高める。 ○ 人々のふれ合いを通して、その思いや願いを受け止めようとする。 ○ 家族や集団の一員として、よりよい集団づくりに積極的にかかわる態度を身に付ける。 ○ 一人一人の自尊感情を高める。
小学校 (高学年)	◎ 児童生徒一人一人の大切さが認められる環境をつくる。 ○ 児童生徒が一人の人間として大切にされる学校・学級づくり ○ 児童生徒の意見がきちんと受け止められる環境づくり ○ 受容や共感のある人間関係づくりと集団づくり ◎ 自主性や主体性を重視した活動を推進する。	○ 基本的人権について学ぶ。 ○ 地域の障害者や高齢者との交流を通して、お互いの人権を尊重し合うことの大切さを知る。 ○ 同和問題、障害者、外国人、ハンセン病等の様々な人権課題について ・歴史や現状について学ぶ。 ・課題解決するための取組を学び、課題を解決するための方法について考える。 ○ いじめ等、身近な人権侵害に気付き、人権を守ることの大切さを知る。 ○ 集団生活を通し、協力して物事を成し遂げることの楽しさを知るとともに、自分の役割と責任について理解する。	○ 自分の個性やよさを認めようとする。 ○ 自分の役割と責任について考え、集団活動に積極的に参加し、協力して生活を向上させようとする態度を身に付ける。 ○ 互いに協力して生活の中にある課題を解決しようとする。 ○ 様々な情報から正しい情報を読み取る力を身に付ける。 ○ 他の人の意見を聴き、自分の意見や考えを整理し、他者に正しく伝える技能を身に付ける。 ○ 物事について話し合っ解決する技能を身に付ける。
中学校	○ 生徒会等を中心とした自主的な運営 ○ 生徒の自発的な活動への支援 ○ 自己決定の機会の保障 ◎ 自主性や主体性を重視した活動を推進する。 ○ 生徒会等の自主的な運営への支援	○ 基本的人権が確立した歴史的経緯や、人権についての考え方の歩みを理解するとともに、国内外の人権に関する規約について学ぶ。 ○ 基本的人権についての具体的内容を理解し、人権侵害の具体的事例について学ぶ。 ○ 新しい人権課題や世界にある様々な人権問題について学ぶ。 ○ 同和問題、障害者、外国人、ハンセン病等について、その現状や歴史について学ぶとともに、課題解決のための取組について理解し、これからも課題を解決するための方法について考える。	○ 人権侵害や人権問題の解決に向けて主体的にかかわろうとする。 ○ ボランティア活動等の様々な活動を通して、より多くの人と豊かにつながり、人権尊重の社会づくりにかかわろうとする態度を身に付ける。 ○ 人権問題解決のための課題を総合的にとらえ、自らの生き方につなごうとする態度を育てる。
高等学校	○ 人間としての生き方を真剣に考えさせ、就労観を育成するキャリア教育等との連動を考慮に入れた支援 ○ 課題解決やルールづくりへの積極的な参加に対する支援 ○ 集団の一員としての自覚の促進	○ 基本的人権の具体的な内容を理解し、人権侵害の具体的事例について学ぶ。 ○ 他者の存在を寛容に受容し、多様な価値観をお互いに認め合って生きていかなければ成立しない一般社会の在り方を知的にも体験的にも認識する。 ○ 同和問題、障害者、外国人、ハンセン病等の様々な人権問題について学ぶ。 ○ インターネットによる人権侵害等の加害者・被害者とならないための情報モラル等を学ぶ。	○ フィールドワークなどの体験活動を積極的に活用して、人権についての「関心・意欲・態度」「思考・判断」「技能・表現」「知識・理解」を育て、人権感覚を育成する。 ○ 人権問題解決の課題を総合的にとらえ自らの生き方につなごうとする態度を身に付ける。 ○ 自分自身の生き方と関連させ、解決に向け、地域社会に発信・行動できる力と技能を身に付ける。 ○ パソコンや携帯電話の機器を所有し操作してゆく上での人権侵害についての判断力を身に付ける。

6 人権教育における課題別目標例一覧

	保・幼・小低
生命の大切さ、自分と家族との関わり	○ 生命の大切さについて学ぶとともに、家族の一員としての自分に気付く。
自分と集団との関わり	○ 友だちのよさやちがいを認め合い、互いに助け合う中で、人間関係の基礎的なことを身に付ける。
自分と社会との関わり	○ 地域のひととのふれ合いや活動を通して、自分と社会とのつながりに気付くとともに、社会生活上の基礎的なルールを身に付ける。 ○ 様々な国の文化や生活にふれ、そのちがいを理解し、認め合うことによって、異なる文化への理解を深める。

	小学校高学年	中学校	高等学校
女性	○ 男女間の固定的役割分担意識の問題点に気付くとともに、男女が互いに尊重し合うことの大切さを理解する。	○ 固定的な性別役割分担意識にとらわれない生き方について考えとともに、社会にある性による差別に気付き、男女平等を実現しようとする積極的な態度を身に付ける。	○ 主体的な生き方を考え、男女共同参画社会の実現に向けた実践的な態度を身に付ける。
子ども	○ 自他のよさやちがいを認め、相手の立場に立って考える態度を身に付ける。また、基本的人権について学習し、互いの人権を尊重し合うことの重要性を理解する。	○ 自己のよさや可能性を認識し、それを伸ばそうとする態度を育成するとともに、他者の個性やよさを理解し尊重する。 ○ 基本的人権の具体的内容を理解するとともに、人権侵害の問題点を考え、課題解決を目指す態度を身に付ける。	○ 自分の人権を守り、家族をはじめとする他者の人権を守ろうとする意識・意欲・態度を身に付ける。 ○ 児童虐待を身近な問題としてとらえ、家族・友だちや身の周りの人を大切に作る生き方を身に付ける。
高齢者	○ 高齢者とのふれ合いを通して、高齢者に対する尊敬や感謝の心を育てるとともに、高齢者の生活や考え方、介護の問題について考える。	○ 高齢者に対する誤った理解が、偏見や差別を生んでいることに気付き、すべての人々が住みやすい社会づくりについて考える。	○ 高齢者の人権を尊重するとともに、高齢者が家族や地域の中で積極的な役割を果たし、各種の社会的な活動に参加できる社会の実現を目指す態度を身に付ける。
障害者	○ ノーマライゼーションの理念を自らの生き方に生かし、互いを理解し、共に支え合う「心のバリアフリー」を広め、同じ社会を構成する一員であるという仲間意識を身に付ける。	○ 障害者が生活する上で、社会には様々な障害があることに気付き、すべての人々が住みやすい社会づくりについて考える。	○ 障害者に対する社会の障壁について考えるとともに、差別や人権侵害をなくし、共に生きる社会を実現していこうとする態度を身に付ける。
同和問題	○ 同和問題について正しく理解し、自分たちの生活を関連づけて考えることにより、社会の中にある差別や偏見の不合理性に気付き、基本的人権の大切さについて学ぶ。	○ 同和問題を正しく認識するとともに、日常生活における差別の解消を通して、部落差別解消への実践力を高める。	○ 同和問題を正しく認識し、同和問題の解決に主体的に取り組む意欲と実践力を身に付ける。
外国人	○ 日本には、様々な民族や国籍の人たちが住んでいることを理解するとともに、身の周りにおける差別や偏見の不合理性に気付く。また、それぞれの文化や考え方を尊重し、共に生きることの大切さについて学ぶ。	○ 外国人が日本で暮らす状況や歴史的経緯を理解し、差別や偏見をなくそうとするとともに、異なる文化を持つ人々と共に生きようとする態度を身に付ける。	○ 在住外国人に対する差別や偏見をなくして、多様な民族や国籍の人々が共に生きる社会の実現に向けた実践的な態度を身に付ける。
その他	○ エイズ、ハンセン病など身の周りの様々な人権問題や社会の変化の中で新たに生じてきている人権問題に気付き、その解決に向けた行動について考える。	○ これまでの人権教育で学んだことを生かして、様々な人権問題や新たに生じてきている人権問題の解決に向けた積極的な態度を身に付ける。	○ インターネットによる人権侵害等の加害者・被害者とならないための情報モラルを身に付ける。

2 人権感覚育成のための視点について

(1) 人権感覚育成のための視点

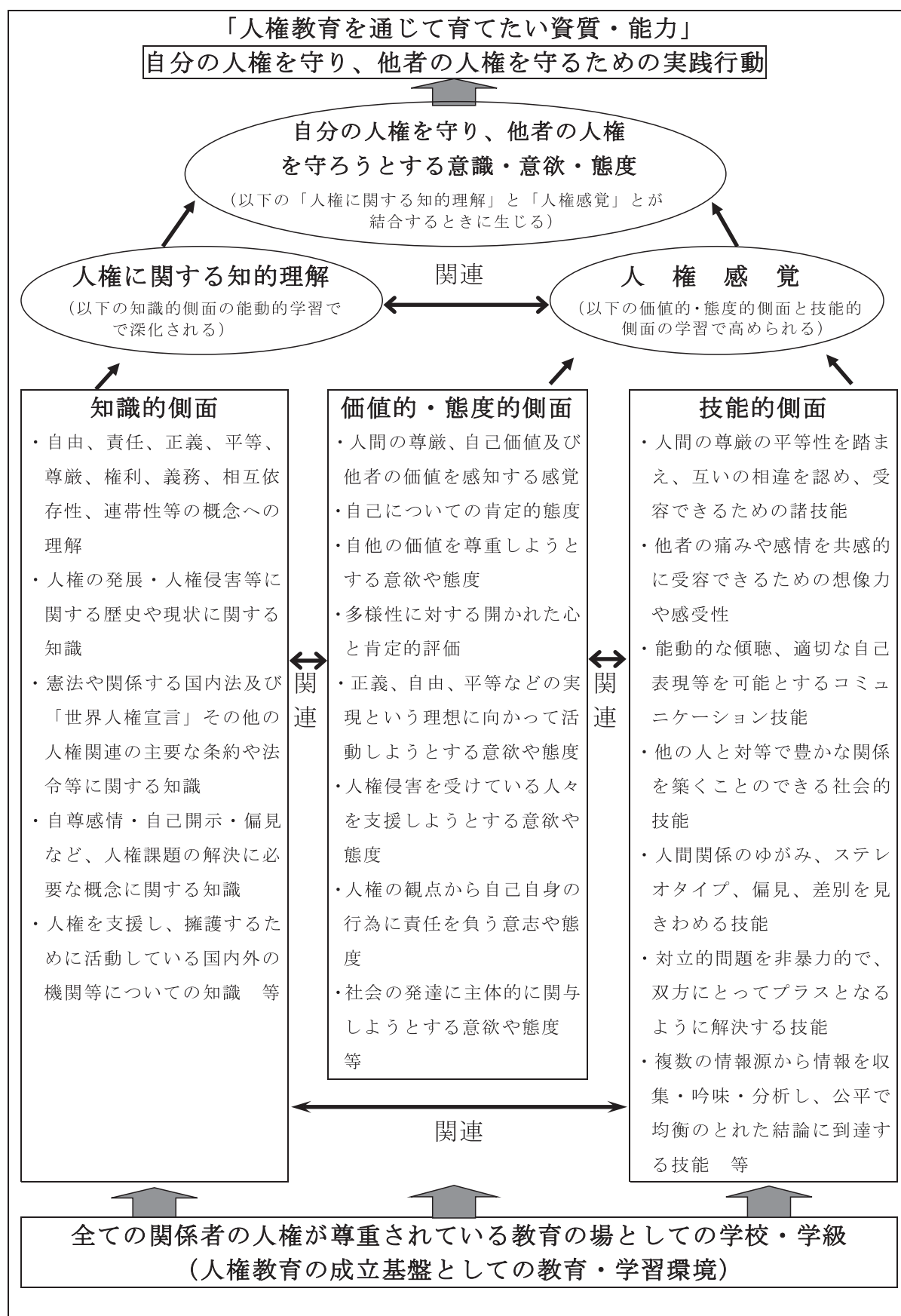
人権感覚をそのまま教育の対象にとらえることは容易ではありません。そこで、人権感覚を育成することに寄与すると考えられる様々な要因に注目し、いわば間接的に人権感覚を育てることが有効であると考え、本県では「人権感覚育成のための視点」として、以下の九つを取り上げました。

視 点	内 容	概 念
人間の尊厳・価値の尊重	自分及び全ての他者をかけがえのない人間として尊重しようとする。	人間の尊厳、想像力、感受性
生命尊重	自分及び他者の生命を尊重し、また、全て生命あるものは互いに支え合って生きていることを知り、生命への畏敬の念をもつ。	生命尊重
自己尊重の感情	自分自身に対する誇りをもち、自分を価値ある存在として肯定的に認め、受け入れる。	セルフエスティーム、自己肯定感
共感と連帯感	他者の立場や思いに興味・関心を寄せ、仲間同士として共通の目的を目指して努力しようとする。	他者への関心、協力、共生、共感、帰属意識
公平・公正	一方に偏ることなく、平等を重んじ、正しいことを貫こうとする。	自由、平等、規範意識、法の尊重、善悪の判断、正義感
多様性の尊重・共生	人々の文化、生き方、価値観などには多様性があることを知り、互いの違いを認め合いながら、共に平和に生きようとする。	多様性の尊重、異文化理解、偏見、共存共生
コミュニケーション能力	自他の権利を尊重し、意見や気持ちを適切かつ豊かに伝え合い、分かり合える。	受容、傾聴、非攻撃的な自己主張、論理的合理的な表現、多様な表現方法、合意形成、プレゼンテーション能力
権利と責任	人間らしく生きるため、権利に基づいて行動し、その行動に責任をもつ。	自立、自己決定、義務、責任
参加・参画	よりよい社会の実現を目指し、他者と連携・連帯し、積極的に社会に参加・参画していこうとする。	連携、連帯、対話、合意形成、参加、参画、行動

(2) 人権感覚育成のための視点に即した目標例

人権感覚育成のための視点	小学校 低学年	小学校 中学年
人間の尊厳・価値の尊重	相手の立場に立って考えや気持ちを想像し、共感できる。	相手の痛みを感知するとともに、身近な偏見などに気付くことができる。
生命尊重	- 身近な自然に親しみ、動植物に優しい心で接する。 - 生きることのすばらしさを知り、生命を尊ぶ。 - 美しいものに触れ、すがすがしい心をもつ。	- 自然のすばらしさや不思議さを感じ取り、自然や動植物を大切にする。 - 生命の尊さを知り、生命あるものを大切にする。 - 美しいものや気高いものに感動する心をもつ。
自己尊重の感情	- 自分自身のよいところに気付く。 - 周りの人から愛され、大切にされてきた自分に気付く。 - 様々なことに挑戦し、最後までやり遂げ、達成感を感じる。	- 自分自身のよいところに気付き受け入れようとする。 - 家庭や地域の人から愛され、大切にされてきた自分に気付く。 - 様々なことに挑戦し、学級の課題を解決した達成感や成就感を感じる。
共感と連帯感	友達の言動に関心をもつとともに、仲よく生活しようとする。	友達の言動に関心をもつとともに、相手の立場に立って考え、仲よく協力して生活しようとする。
公平・公正	- 自分の好き嫌いとらわれないで接する。 - 問題が起こった時、話し合いを大切にして解決しようとする。	- 誰に対しても分け隔てをせず、公平・公正な態度で接する。 - 問題が起こった場合、話し合いを大切にし、自分たちでルールをつくり、それに従って問題を解決しようとする。
多様性の尊重・共生	- 一人一人、外見や考え方・感じ方に違いがあることに気付き、それを受け入れることができる。 - 思いこみや決めつけが相手のことを正しく理解するさまたげになっていることに気付き、相手のよい面を見ようとする。	- 一人一人、外見や考え方・感じ方に違いがあることに気付き、それを受け入れ尊重することができる。 - 決めつけや偏った見方が相手を間違っているとらえる原因になることを理解し、いろいろな角度から物事を見ようとする。
コミュニケーション能力	- 相手の気持ちを考えながら聞くことができる。 - 自分の気持ちや考えを相手に伝えることができる。 - 友達との学び合いや対話を大切にし、協力しようとする。	- 相手の気持ちに共感しながら聞くことができる。 - 自分の気持ちや考えを相手に分かるように適切に伝えることができる。 - 友達との学び合いや対話を大切にし、物事を進めようとする。
権利と責任	- きまりや約束を守り、自分の役割を果たそうとする。 - 自分たちが安心して生活できる学級をつくるための責任を果たそうとする。	- 自分たちで決めた学級のきまりや約束を守り、自分の責任や仕事を果たそうとする。 - 自分たちが安心して自由に生活できる学級をつくるための責任を果たそうとする。
参加・参画	学校や地域の行事に進んで参加し、よりよい行事にするために、主体的に行動しようとする。	学校や地域の行事に進んで参加し、よりよい学級や学校をつくるために積極的に関わり、仲間と協力しながら主体的に行動しようとする。

小学校 高学年	中学校	高等学校
- 相手の痛みや感情を感知するとともに、身近な偏見、差別を見抜くことができる。 - 自然の偉大さを知り、環境の保全に寄与する態度を身に付ける。 - 生命が多く生命のつながりの中にあるかけがえのないものであることを理解し、自他の生命を尊重する。 - 美しいものや気高いものに感動する心や人間の力を超えたものに対する畏敬の念をもつ。	- 相手の痛みや感情を感知するとともに、社会の不合理や偏見、差別を見抜くことができる。 - 自然を愛護し、美しいものや気高いものに感動する心など、豊かな情操をもつ。 - 生命の尊さを、その連続性や有限性なども含めて理解し、かけがえのない自他の生命を尊重する。 - 人間には弱さや醜さを克服する強さや気高さがあることを理解し、人間として生きることの喜びを見い出すよう努める。	- 相手の痛みや感情を感知するとともに、社会の不合理や偏見、差別を見抜き、個人の価値を尊重することができる。 - 自然を愛護し、美しいものや気高いものに感動する心を持ち、人間の力を超えたものに対する畏敬の念を深める。 - 生命の尊さを、その連続性や有限性なども含めて十分理解し、かけがえのない自他の生命を尊重する。 - 人間には弱さや醜さを克服する強さや気高さがあることを理解し、人間として生きることの喜びを見い出す。
- 自分自身の長所も短所も肯定的に受け止めようとする。 - 家庭や地域の一員として、支えられていることに気付く。 - 自己の設定した目標に到達したり、学級や学校の困難や課題を解決したりして、達成感を感じる。	- よいところや不完全なところも含めて、自分自身を大切な存在と受け止めようとする。 - 家族や地域の一員として、多くの人とつながり、支えられていることを知る。 - 自己の設定した目標に到達したり、学級や学校、地域社会の課題を解決したりして、達成感や成就感を感じる。	- よいところや不完全なところも含めて今ある等身大の自分自身を価値ある存在であることを受け止めようとする。 - 家族や社会の一員として、多くの人の世界的なつながりの中で、支えられていることを知る。 - 自己の設定した目標に到達したり、学校や地域、国際社会の発展に貢献したりして、達成感や成就感を感じる。
周りの人の言動に関心をもつとともに、相手の立場や心情を受け止めながら、仲よく協力して生活しようとする。	他者の考えや言動に興味関心をもつとともに、相手の立場や心情を踏まえ、積極的に人間関係を築き協力しようとする。	他者の考えや言動に興味関心をもつとともに、自他の敬愛と協力を重んじ、積極的に人間関係を築き協力して物事に取り組もうとする。
- 誰に対しても差別することや偏見をもつことなく、公平・公正な態度で接し、正義の実現を努めようとする。 - みんなが自分らしく生活できるよう自分たちでルールをつくり、問題が起こった場合は、それに従って話し合いによって解決しようとする。	- 正義と公正さを重んじ、誰に対しても公平に接し、差別や偏見のない社会の実現に努めようとする。 - みんなが自分らしく生きられるよう自分たちでルールをつくり、対立などの問題を、そのルールに則り、お互いの考えを尊重しながら解決しようとする。	- 正義と公正さを重んじ、誰に対しても公平に接し、差別や偏見のない国際社会の実現に努めようとする。 - みんなが自分らしく生きられるよう自分たちでルールをつくるとともに、そのようにつくられた社会の規則を重んじ、対立などの問題を、ルールに則り、お互いの考えを尊重しながら解決しようとする。
- 一人一人の価値観や行動様式の違いを尊重するとともに、多様な文化の理解に努めようとする。 - 決めつけや偏見が差別の原因になる可能性が高いことを理解し、物事を柔軟にいろいろな角度から見ようとする。	- 一人一人の価値観や行動様式等を尊重するとともに、多様な文化の理解に努め、共に高め合おうとする。 - ステレオタイプ（決めつけた見方）や偏見にとらわれないよう自分の感情や考えを冷静に振り返り、物事を柔軟かつ多角的に見ようとする。	- 社会における様々な価値観や行動様式等を理解するとともに、多様な文化の理解に努め、豊かな関係を築こうとする。 - ステレオタイプ（決めつけた見方）や偏見にとらわれないよう自分の感情、考え方、価値観を冷静に振り返り、物事を柔軟かつ多角的に見ようとする。
- 相手の気持ちや考えを共感しながら聞き、自分の考えを整理することができる。 - 様々な方法で、自分の気持ちや考えを他者に分かるように伝えることができる。 - 他者との学び合いや対話を大切に、意見を調整しながら物事を進めようとする。	- 他者の気持ちや考えを共感しながら受け止め、自分の考えをまとめることができる。 - 自分の気持ちや考えを正確にとらえようとし、様々な方法を活用して率直かつ誠実に他者に伝えることができる。 - 他者との学び合いや対話を大切に、合意を形成しながら物事を進めようとする。	- 他者の気持ちや考えを共感しながら受け止め、自分の考えを深めることができる。 - 自分の気持ちや考えを正確にとらえようとし、様々な方法を活用して率直、誠実かつ適切に他者に伝えることができる。 - お互いのアイデンティティ（自分らしさ）を尊重し、対話を重視して合意を形成しながら物事を進めようとする。
- 人権は、みんなが大切にしようとして話し合っただけのものであり、それを守る責任があることを理解する。 - 権利を大切に、自律的に判断して責任のある行動をする。	- 人権は、歴史的に社会で合意が形成されて共通のルールとなったものであり、それを大切にする責任があることを理解する。 - 正義と責任を重んじ、自主的に考えて判断し、誠実に実行してその結果に責任をもつ。	- 人権は、歴史的に社会で合意が形成されて共通のルールとなったものであり、それを守る責任があることを理解する。 - 権利の精神を重んじ、自主的に考え、判断し、誠実に実行してその結果に責任をもつ。
学校や地域の行事にすすんで参加したり、よりよい学級や学校をつくるために、企画の段階から主体的に参画しようとする。	自主及び自立の精神をもち、よりよい学校や地域をつくるために企画の段階から主体的に参画して、多くの仲間と共に行動しようとする。	公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、多くの仲間と共に行動しようとする。



「人権教育の指導方法等の在り方について〔第三次とりまとめ〕」（平成20年3月）より抜粋